

平成 30 年度 測量士試験 問題 午前 No22 (地図編集)

<H30-No22 : 地図編集 : 問題>

次の a～e の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 地図投影法は、三次元立体である地球の表面に存在する地物の位置や形を、できるだけ正しく平面に描くための方法である。
- b. 正距図法は、地球上の任意の 2 地点間の距離が、同一の縮尺で地図上に表示される図法である。
- c. 正積図法は、地球上の任意の範囲の面積が、縮尺に応じて地図上に正しく表示される図法である。
- d. 地図上において、正距図法と正積図法の性質を同時に満足させることは、理論上可能である。
- e. ガウス・クリューゲル図法は、正角円錐図法の一つで、回転楕円体から平面に直接投影を行うものであり、大・中縮尺地図の図法として多く用いられている。

- 1. a, c
- 2. a, e
- 3. b, d
- 4. b, e
- 5. c, d